

4月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
06/04/17 (月)	東京はWSJ報道に加え全人代副委員長の発言を受けてドル安・円高の流れ。欧米もドル安継続。東京の流れが続くなか発表された米経済指標が冴えずドルは対円などで続落。	・2月の鉱工業生産確報 1.2% ・イースターマンデーで一部アジアと主要欧州市場休場 ・4月のNY連銀製造業景気指数15.8、2月の対米証券投資869億ドルの買い越し	・14日付WSJ紙にFRB6月利上げ打ち止めの観測記事 ・全人代副委員長「中国は米債購入を減らすべき」 ・シカゴ連銀総裁「インフレは安定したレンジの上限に近い」	ドル円	ユーロ円	24H
				118.38	143.68	寄付
				117.54	143.60	安値
				118.41	144.58	高値
				117.80	144.31	終値
06/04/18 (火)	東京は夜半のFOMC議事録発表に注目する向きが多く、売買手控えムード。欧米は注目のFOMC議事録が利上げ打ち止めを示唆する内容になったことでドルは急落。	・3月の米PPIは0.5%、同住宅着工件数196万件、同建設許可件数205.9万件 ・米FOMC議事録「利上げは恐らく終了に近い」(3/28日分)	・谷垣財務相「長期金利の上昇スピードは少し早過ぎる」 ・安倍官房長官「日銀はゼロ金利で日本経済を支えしてほしい」 ・SF連銀総裁「金融政策は行き過ぎる可能性がある」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.80	144.40	寄付
				117.07	144.18	安値
				118.22	144.75	高値
				117.07	144.59	終値
06/04/19 (水)	東京でドルはさらに続落し一時116円台へ。しかし値ごろ感による買いもあり行って来い。欧米は米長期金利の上昇などから一時ドル買いが優勢となるも各種発言を受けて終盤その勢いは減退。	・3月の米CPIは0.4%	・SF連銀総裁「指標の裏付けがあれば利上げ終了も」 ・中国国家主席「人民元改革を継続していく」 ・FRB議長「米貿易赤字は必ずしも下落を加速させない」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.04	144.63	寄付
				116.76	144.25	安値
				117.97	145.44	高値
				117.30	145.27	終値
06/04/20 (木)	東京はクロスを中心に円高含み。ポンド/円でM&Aに絡む動きがあったとされそれがドル/円にも影響した。欧米はレンジ内で一進一退。人民元改革など期待する向きも少ないが、とくに目立つ報道はなされず。	・第1四半期の中国GDP10.2% ・3月の貿易黒字9781億円 ・4月のFF連銀景況指数13.2、3月の米景気先行指数 0.1% ・米中首脳会談	・中国統計局「為替相場を調整するだけでは貿易不均衡の是正は図れない」 ・米大統領「中国にさらなる人民元の上昇を求める」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.39	145.26	寄付
				117.32	144.53	安値
				117.90	145.51	高値
				117.55	144.79	終値
06/04/21 (金)	東京は週末のG7をにらんだ動きからレンジ相場。ただクロスで円はやや冴えない。欧米はスウェーデン中銀の発表や露財務相の発言などもありドル独歩安。反面、ユーロは全面高へ。	・2月の第三次産業活動指数 1.5% ・スウェーデン中銀が過去1ヶ月に外準のポート変更を表明、ユーロの比率を13Pも引き上げ	・露財務相「米ドルは不安定、絶対的な外準通貨とされることに理解出来ない」 ・FRB副議長「米経済にリスクがあるなら辞任はしていない」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.55	144.57	寄付
				116.55	143.85	安値
				117.77	145.12	高値
				116.60	143.86	終値
06/04/24 (月)	週末のG7声明を受けて早朝のウレイントンから大荒れ。ドルは安寄りしたあと大幅続落で下げ止まらず。欧米に入ってもドル売りの流れ変わらず。途中損切りを巻き込んだこともあり逆にドル安が加速する局面も。	・G7声明「一段の為替相場の柔軟性が不可欠」(22日)	・細川財務次官「G7で日本が円高容認との発言・意見はまったくなかった」 ・フラット報道官「為替報告書を今後2週間以内に公表する」	ドル円	ユーロ円	24H
				115.80	143.27	寄付
				114.24	141.75	安値
				115.95	143.33	高値
				114.65	142.02	終値
06/04/25 (火)	東京はゴト-日仲値不足観測からドル強含みで始まるも続かず。買い一巡後はじり安へ。欧米はユーロが独歩高。発表されたIFO指数が予想を上回ったうえバラモ発言が好感されユーロ買いが進む。	・4月のIFO景況指数105.9 ・カナダが25BPの利上げ実施 ・4月の米消費者信頼感指数109.6、3月の米中古住宅販売692万件	・谷垣財務相「円相場はG7後荒っぽい値動き」 ・カナダ中銀「緩やかなさらなる利上げが必要となる可能性」 ・バラモ欧州中銀専務理事「必要とあればECBは行動する」	ドル円	ユーロ円	24H
				114.66	141.96	寄付
				114.30	141.50	安値
				115.00	142.87	高値
				114.82	142.74	終値
06/04/26 (水)	東京は円安。材料はとくになかったが月末に向けた外貨建て投信設定に絡む円売りなどに押された。欧米は米長期金利の上昇もあり一時ドルが買い進まれたものの上値重い。終盤はむしろじり安。	・第1四半期の英国GDP速報値0.6% ・マレーシア中銀が政策金利を25BP引き上げ ・3月の米耐久財受注6.1%、同新規住宅販売121.3万件	・米地区連銀報告「エネルギー-価格は物価に圧力を与えている」 ・フィラント中銀総裁「ECBは原油価格を注視」	ドル円	ユーロ円	24H
				114.88	142.73	寄付
				114.62	142.65	安値
				115.39	143.18	高値
				114.73	142.87	終値
06/04/27 (木)	東京は夜半のFRB議長議会証言を控えて手控えムード。レンジ内で一進一退続く。欧米は渡辺発言でドル買いスタート。しかし中国利上げ実施に米利上げ休止発言もあり、その後急落へ。	・NZが政策金利の据え置き発表 ・4月の独失業者率11.3%、同失業者数4万人 ・中国人民銀行が貸出基本金利を0.27%引き上げ5.85%にすると発表	・渡辺財務官「G7声明、ドル調整と読むのは間違い」 ・FRB議長「展望を見極めるために金融引き締めを停止する可能性がある」 ・「G7がドル下落を求めているとの市場観測は間違い」	ドル円	ユーロ円	24H
				114.75	142.86	寄付
				113.83	142.08	安値
				115.13	143.15	高値
				114.10	143.00	終値
06/04/28 (金)	東京は月末需給に加えショートカバーなどの動きもあり、クロスを含めて円が弱含み。欧米は結果ユーロ独歩高。米ドル安容認思惑などからドル買い難い雰囲気。良好な米指標にも反応薄。	・3月の消費者物価0.5%、同失業者率4.1%、同鉱工業生産0.2% ・第1四半期米GDP速報値4.8%、同労働コスト指数0.6%、4月のミシガン大消費者信頼感指数87.4、同シカゴ購買部協会景気指数57.2	・フィラント中銀「保有していたクローネをユーロに交換した」 ・スイス中銀総裁「現行の金利水準は適切な水準ではない」 ・日銀が金融政策維持の維持を発表	ドル円	ユーロ円	24H
				114.15	143.14	寄付
				113.66	142.95	安値
				114.50	143.81	高値
				113.83	143.81	終値

* 製作・著作；「FXニューズレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>